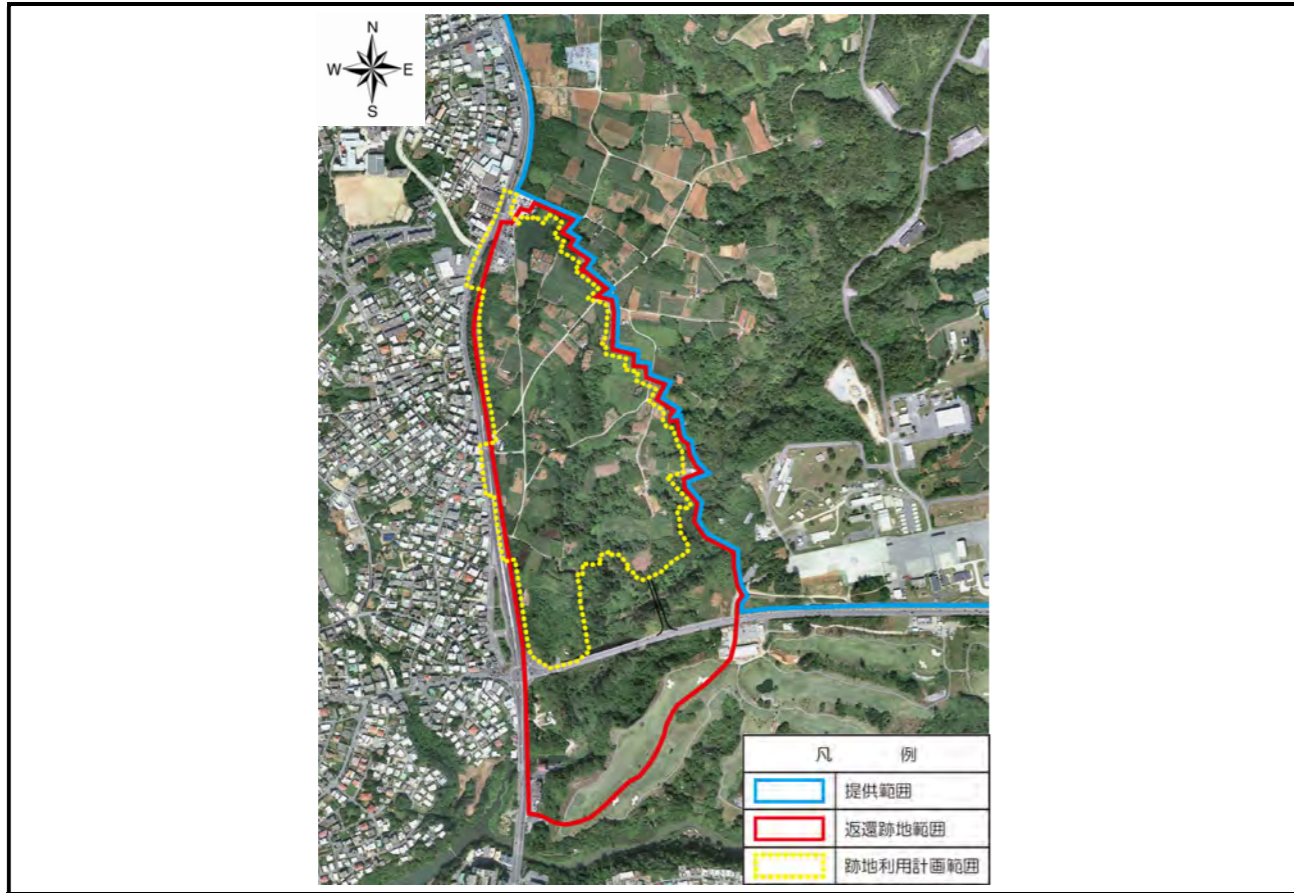
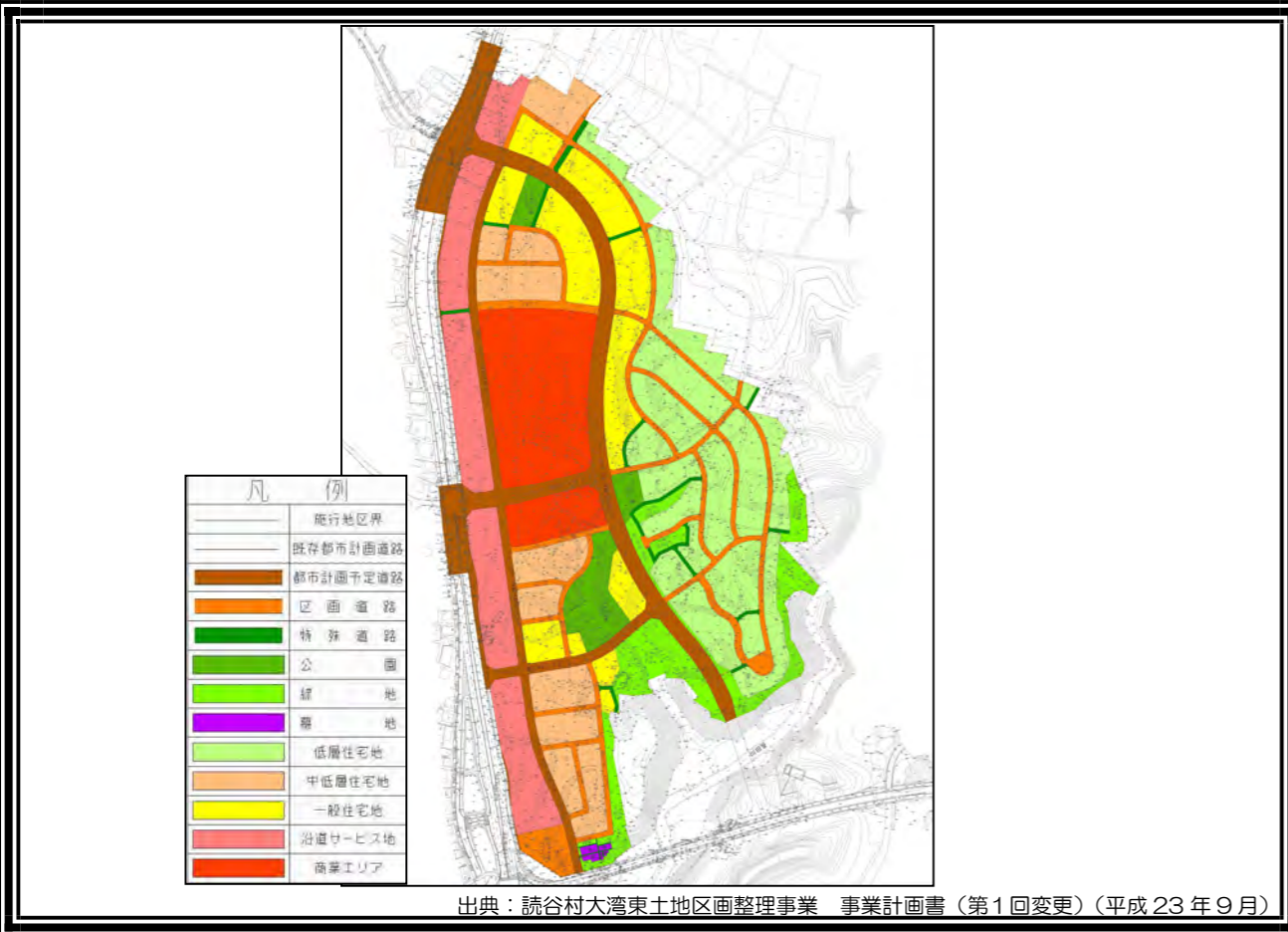


嘉手納弾薬庫地区（国道東地区）

返還跡地



市街化予想図



出典：読谷村大湾東土地区画整理事業 事業計画書（第1回変更）（平成23年9月）

■返還跡地の概要等

□ 概要					
面積	37.9ha		■内訳		全体面積(37.9ha)は不詳地籍を含むため、内訳に示す各面積の合計(36.7ha)と符合していない。 (内訳は読谷村提供)
	国有地	0ha	0%		
	県有地	0.007ha	0.2%		
	市町村有地	1.1ha	2.9%		
	民有地	35.6ha	93.9%		
所在地	読谷村（字比謝、字大湾、字比謝砦）				
位置及び現況	位置：沖縄本島中部、読谷村東部の国道58号東側 現況：東側の一部斜面を除き、大部分が原野				
使用状況	—				

□ 沿革	
昭20	●米軍の占領と同時に使用開始。（当初は嘉手納飛行場に隣接する地域に嘉手納弾薬庫、波平弾薬庫等が構築され、その後も東恩納弾薬庫を始め次々と施設が構築されるなど、施設の拡張や機能強化が図られた。）
昭46.6.30	●沖縄返還協定了解覚書C表により、東恩納弾薬庫の一部（約94.7ha）を返還。
昭47.5.15	●沖縄返還協定基地リストA表で9施設が統合され、「嘉手納弾薬庫地区」として提供開始。
昭51.7.8	●第16回日米安全保障協議委員会において、一部の移設条件付（南西隅部分：約40ha）返還を合意。
昭51.8.31	●「南部弾薬庫」及び「那覇空軍・海軍補助施設」の瀬長島所在海軍弾薬庫を移設。
昭53.10.1	●施設管理権が陸軍から空軍へ移管。
平2.6.19	●日米合同委員会において、返還に向け所要の調整・手続きを進めることを確認。
平7.12.21	●日米合同委員会において、国道58号東側部分及び南西隅部分について返還を合意。 ※返還条件：地元利用計画が策定された時点、若しくは平成10年12月31日までのいずれか早い時期に返還。
平10.11.19	●日米合同委員会において、牧原地区、親志地区等含む約39haの返還を合意。
平11.3.25	●75ha（牧原、比謝砦、大湾、比謝）、3.4ha（親志）を返還。

■跡地利用に係る取組状況等

□ 跡地利用方針・計画
●平成11年度に「読谷村軍用地跡地利用基本構想策定業務報告書」を策定し、土地区画整理事業による基盤整備を実施することを決定。

□ 事業段階	
事業実施中	●平成21年度から村道比謝牧原線の北側部分において読谷村大湾東土地区画整理事業を実施中。（平成30年度事業完了予定） ●平成25年度から平成30年度まで、村道比謝牧原線の整備を実施。 ※平成26年度に用地買収を行い、平成27年度から工事を開始。 ※平成27年度に牧原側下部工の整備が完了。平成28年度は地区側の下部工を整備中で、平成31年度に完了予定。